

布佐平和台自治会における防災訓練（第1シリーズ 平成21年11月29日実施）

【概要】

- 9:00～9:20 防災マニュアル講習（布佐平和台被害想定結果、防災体制の概要、
理事・班長の役割）
- 9:20～9:30 防災訓練説明（地区支部安否確認の訓練内容）
- 9:30～10:00 訓練準備(自宅待機)
- 10:00～11:00 安否確認訓練
- 11:00～12:00 反省会

1 防災マニュアル講習

(1) 被害想定結果報告

防災委員会独自に行った布佐平和台地区の被害想定結果（震度6弱及び6強）
について説明。

震度6強だと、地域1395戸のうち、687戸の建物被害が発生すると想定
されるため、地域での防災体制を高める必要がある。

(2) 防災体制の概要

災害直後に大切なのは「共助」。特に、布佐平和台地域は横長の地域なので、
地域全体の被害状況の把握が難しい。

そのため、地域を10地区に分けて、支部ごとに情報をまとめて、自治会館に
設置する本部へ報告する。

被害状況収集については、一班9戸になるように班分けをし、班長が各戸の被
害状況、安否確認をして、支部理事へ報告する。

支部理事は、支部の情報をまとめて、本部へ報告する。

2 防災訓練説明

本年度作成した初動マニュアルの検証をするための訓練。

今回の訓練は、10地区支部のうち、3地区支部を対象に実施。

班長が各戸を回り、門柱にかけられた被害状況を被害状況集計書に記載し、

支部へ報告をする。支部では、理事が報告書を集計し、被害状況を地図に落と
し込む。

3 安否確認訓練



門柱に掛けられた被害状況カード
(カードの種類は、全壊・半壊・初期火災・炎上火災)



地区支部での活動状況

4 訓練後の反省会

- ・ 班長からの報告はスムーズに行ったが、被害状況を地図に落とし込む作業に手間取った。受付と地図記入者を分けたほうがよいのでは。
- ・ 違う支部に来た班長がいたが、実災害の時はそのような事も想定されるので対応できるようにした方がよい。
- ・ 実災害の時に、全壊・半壊・初期火災・炎上火災の判断が難しいと思う。
- ・ 次回からは、全戸のインターフォンを押して、声掛けをして安否確認するか、被害状況カードを全戸に配布して、自分で下げてもらうようにして、全家庭に訓練をやっていることをアピールすれば、防災啓発にも繋がると思う。
- ・ 来年1月と2月に残りの7地区の訓練を3月には統合訓練を実施する予定。



反省会の様子